

いわふね
自然愛好会
会報

2026. 2. 28

第 63 号

発行:いわふね

自然愛好会

(2025. 9 月～2026. 2 月までの記事)

2026 年度

いわふね自然愛好会 総会 1 月 31 日 (土) 開催



於：情報センター視聴覚ホール 参加 23 名

総会に参加して

森川信
雪交じりの殊の外厳しい寒さが続いている中、午前 9 時から総会が始まりました。総会后、講演会予定されていて、会場は情報センター・視聴覚ホールに 23 名が参加して始まりました。

初めに梅田会長のあいさつの後、議長に金子一幹事を選出、中村事務局長が報告されました。

報告事項の中で、退会者 14 名、新規入会者 1 名、2025 年当初会員 76 名、2026 年 1 月 1 日会員数は 60 名と会員が減少しており、会の未来を考えると会員の拡大をどうするかが課題になっています。

(1) 第 1 号議案、2025 年度事業報告並びに収支決算

- ・アカハネバッタ環境保全活動に沢山の方が参加され、大変労力のいる活動に感謝しています
- ・山居山周辺自然調査は 17 回・延べ 98 名の参加で努力しておられます。
- ・環境フェスタへの参加等活動は多岐に

渡ります。

- ・2025 年度事業報告各種会議が全 13 回、役員の方の努力を強く感じました。
 - ・研修会 2 回。粟島での宿泊研修に 15 名参加があり、島の観察会で知見を広め、宿泊では会員の懇親を深めることができましたようです。
 - ・観察会は 5 回予定されましたが、1 回雨天中止、私は開川村・観音寺公園周辺の観察会のみ参加。鷹ノ巣周辺の地質・地層、観音公園周辺の花崩岩の露頭、植物、2022 年 8 月 3 日の湯沢・土石流災害の現況の説明を聞くことができました。
 - ・地域貢献している学習支援が富樫繁春前会長、河内花子さん等による生物調査植物観察会が、平林小と中等教育学校生徒多数の参加を得て行われました。
- (2) 第 2 号議案 2026 事業計画並びに収支予算を可決。
- (3) 第 3 号議案 2027 年度会費 2, 000 円可決。
- (4) 第 4 号議案 役員改選

「塩谷砂丘の生きものたちと保全」



講演の内容は、塩谷砂丘の現状と 2022 年から取り組んできた会の活動、今後の課題について。時間は 50 分間。参加者は会員 23 名、市民 29 名。

まず、現状はどんどん砂丘が浸食をうけて危機的。かつては、砂浜が広く、ハマナスやアキグミなどの低木林が群落をつくっていた。

また、貴重な海浜植物や昆虫などは写真を映して砂丘の自然の素晴らしさを語った。次に、植物の植生調査と気温・地温などのロガー観測結果を会員の活動写真を交えて紹介した。

アカハネバッタは、1986 年塩谷海岸の記録を最後に国内絶滅とされた。それが、

2012 年再発見。2016 年、環境省により種の保存種に指定され、保全活動が開始された。

現在、生息環境を守るため外来植物とススキの駆除やプラゴミ拾いなど、関係機関や小学校、地元などへと徐々に広がってきた。

同種の生活史は 5 月に孵化。6 月に 2 齢～4 齢、7 月に終齢を迎えて羽化し、8・9 月に交尾・産卵する。9 個体の飼育では、食草がカワラヨモギと判明し、6 個体は死亡したが、3 個体は生息地に戻すことができた。

調査と保全活動に参加した会員の姿と共に、元会員の小嶋・近両氏も映っていて懐かしさを覚えた。

2023 年の猛暑で、砂丘の植物が枯れ、アカハネバッタも発見が難しいほど個体数が激



減した厳しい現実には胸が痛んだ。

塩谷砂丘の貴重な自然と生きものたち、保全活動の大切さ、今後の取り組みなどについて充分伝わった講演内容であった（中村記）。



アカハネバッタ（提供：永幡嘉之氏）

丸山公園～湯沢観音公園自然観察会

(2025.9/21 (日))

丸山公園から湯沢観音公園まで歩いて、帰りは車で乗り合わせて帰る計画で車を配置したのですが、連絡の表現がまずく、上手に配車できず、無駄な時間を使わせてしまいました。



感想1 いわふね自然愛好会

会員 中村 直

私が登山に誘われた中学生の頃から、インド大陸がユーラシア大陸に衝突してヒマラヤ山脈やチベット高原ができて、海底火山群が本州に衝突して、伊豆半島や丹沢山地や富士山の基盤になったことを知り、その度に驚いていました。

今回の丸山大橋から荒沢川河口付近に露呈した面は中生代ジュラ紀の砂岩がそのあとの砂岩(釜杭層)を突き上げた断層という説明でした。とすると、大陸が割けて日本海ができた頃の現場を見ているということでした。

この岩船地区には古い地層が在るという

ことは気づいていましたが、こんなに身近なところで見ることができるとはこれから楽しみです。

その後の湯沢観音先の花崗岩((貫入流紋岩)は、できた頃のマグマの熱が、地下水を温めて湧く温泉の源になっている驚きがあります。

金子さん、森川さん、梅田さんありがとうございました。植物も見逃していたものが観察できて、有意義でした。



湯沢観音先の露頭

感想 2

いわふね自然愛好会

会員 駒沢 則

久しぶりに自然観察会に参加させて頂きました。

関川村は大通りを車で通った事しかなく、丸山公園からの里山歩きはとても新鮮でした。道すがら草花の名前をたくさん教えていただいたのですが、覚えるのは難しく今回はミズヒキの赤白黄と紫式部を覚えることができました。

湯沢観音公園も初めての場所で観音様があることも桜田門外の変の関鉄之介が捕

まった地であることも初めて知りました。

地層の説明もやはり難しかったのですが、1700 万年前、ここは海だったのかと考えてみたり、湯蔵山と温泉の関係など、奥深い

思ったりしました。

そしていつかは湯蔵山

を登ってみたいと思っています。

先生方の元気さと探求心と知識の豊富さにいつもながら感心するとともに楽しく学ばせて頂きました。ありがとうございます。



アカハネバツタ保護活動事業 海岸周辺のゴミ拾い

(2025.10/1 (水)) 9:00~10:00



前会長富樫繁春さんが担当し、いわふね自然愛好会 10 名、平林小 48 名（児童 42、先生 6）、森林管理署 8 名、村上振興局 1 名、村上

市環境課 1 名、塩谷総区長・役員 5 名の参加で塩谷海岸のプラゴミ拾いが行われました。

平小児童の感想

2 年生 とおやま (男) さん

いろいろなゴミがありました。このゴミが、かんきょうをはかいして、アカハネバツタのいばしょをなくしてしまうので、これからもいろいろなとりくみをしてくれることをねがっています。手には土がついたけど、かんきょうをすこしでもよくできたかなと思っています。もっとよくしたいと思います。

2 年生 いしだ (男) さん

ぼくは、しおやかいがんのせいそう

に行ってきました。ゴミをたくさんひろって、アカハネバツタのすみかをもっと広げたいと思います。ゴミをたくさんひろえたので、うれしかったです。

2 年生 さくらい (女) さん

わたしは、いくみちゃんとゴミひろいをしました。きけんぶつもおちていました。アカハネバツタがへいわにくらせるようにねがっています。またごみひろいをしたいです。(3 人の子どもたち、素晴らしい感想ありがとうございました。)

環境フェスタ 2025年 於：神林環境改善センター (2025.10/5日(日))



事前準備の時

今年度は、山元遺跡周辺のことを中心に[環境の現状の一端]を来場者に知っていただくという趣旨で行いました。

山熊田・中継自然観察会 (2025.10/19日(日))



昼食会場「生業の里」 二野建設様所有

下見を2回。富樫俊さんにコースを教えてくださいながら実施しました。

そのうえ、12人塚の説明も担当していただきました。

浅間神社、12人塚、林道、日本国片麻岩の観察等、多くの素晴らしい歴史と自然に巡り合え、観察することができました。林道では滝がたくさんあり、目を見張りました。

いわふね自然愛好会会報 第63号
発行者：会長 梅田 温美
〒958-0853 村上市山居町1-3-52
Tel. 0254-53-4493
E-mail : aumeda@lime.ocn.ne.jp
編集：会報担当 中村 巖



お悔み

長谷川憲明さんが2025年12月14日、癌のためお亡くなりになりました。5月ごろから調子が悪くなり、入院していました。

78歳でした。船員学校から外国航路の貨物船に乗っていたと聞いています。

愛好会では鳥類の観察にたけていて、いろいろな観察会では鳥の鳴き声が聞こえると「～だ。」などと教えてくださいました。ご冥福をお祈り申し上げます。